

病理科初期研修カリキュラム
カリキュラム責任者：保坂 直樹

<一般目標 GIO: General Instructional Objective>

病理診断の内容や記載の意図を正しく理解し、実地の臨床に活用できるようになるために、病理組織診断・細胞診断および剖検を含む病理診断業務全般に関する基礎知識を修得する。

<行動目標 SBO: Specific Behavioral Objective>

- ① 肉眼的観察により組織標本において病変の部位や異常所見を正しく指摘できる。
- ② 組織標本において標本作製のための適切な切り出しができる。
- ③ 組織診および細胞診検体の採取や固定法について説明できる。
- ④ 組織診および細胞診の標本作製から観察に至る過程を概説できる。
- ⑤ 組織診および細胞診について適切な方法で検体提出、検索依頼ができる。
- ⑥ 主要各領域における一般的な疾患に関して病理所見や特徴を概説できる。
- ⑦ 疑問点の提示や説明など、病理医とともに問題解決に積極的な態度を示す。
- ⑧ 常に円滑な協力態勢の構築、維持に努め、病理医との適切な討論ができる。
- ⑨ 術中迅速診断の特殊性を理解し、適切な対応ができる。
- ⑩ 病理解剖について臨床経過や疑問点を踏まえた適切な依頼ができる。
- ⑪ CPC の意義、これにおける病理の役割を理解し、実際に割り当てられる CPC 報告書作成に対応できる。

<方略 LS: Learning Strategies>

実際の材料や状況や即した業務実践と病理専門医による直接指導。
(病理部および病理検査室にて)

<研修評価 EV: Evaluation>

自己評価に指導者評価を加味した総合評価。基準項目は下記による。

- (1) 外科切除標本における肉眼観察、異常所見の指摘
- (2) 各領域における一般的疾患の病因、病態の理解
- (3) 肉眼所見と組織所見に関する基本的病理用語の理解
- (4) 正しい様式に基づく診断報告書の作成および問題点や重要事項の指摘
- (5) 剖検における主診断名以外の疾患を含めた病態生理の把握